

様式 2

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	116・日文	第1学年	算数 140	しょうがく さんすう 1ねん
		第2学年	算数 240、算数 241	小学算数 2上、小学算数 2下
学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	116・日文	第3学年	算数 340、算数 341	小学算数 3上、小学算数 3下
		第4学年	算数 440、算数 441	小学算数 4上、小学算数 4下
		第5学年	算数 540、算数 541	小学算数 5上、小学算数 5下
		第6学年	算数 640、算数 641	小学算数 6上、小学算数 6下
取扱内容	<p>○ 数と計算 第1,2学年では、残った果物の数を数えたり、乗り物に乗っている人数を調べたりする活動、第3,4学年では、お菓子をみんなに分ける場面を考えたり、ジュースのかさをしで表したりする活動、第5,6学年では、リボンの1mの代金を求めたり、ペンキで塗る屋根の面積を考えたりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>○ 量と測定 第1,2学年では、鉛筆や指を使ってものの長さを比べたり、ものさしを使って直線を引いたりする活動、第3,4学年では、文房具の重さを比べたり、方眼紙を使って面積を求めたりする活動、第5,6学年では、三角形を等積変形するようにかいたり、体積が一番大きい立体を見付けたりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>○ 図形 第1,2学年では、同じ形のものを集めたり、紙を切って直角三角形を作ったりする活動、第3,4学年では、三角形を仲間分けしたり、身の回りの四角形を探したりする活動、第5,6学年では、身の回りにある合同な図形を探したり、形が同じで大きさが異なる図形について調べたりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>○ 数量関係 第1,2学年では、動物の数を数えたり、好きな給食のメニューを調べたりする活動、第3,4学年では、動物の種類を表に表したり、2つの都市の気温を折れ線グラフに表したりする活動、第5,6学年では、日本の地方別面積を調べたり、50m走の記録をグラフに表したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探求への対応 第1,2学年では、「たしかめ ばいんと」において確実な定着を図る問題、「ふくしゅう」において知識や技能の定着を図る問題、第3,4学年では、「なるほど 算数」において学習した内容を活用する問題、第5,6学年では、「選んで学ぼうぐっとチャレンジ」において学習した内容を活用する問題、「いち・に・算活」において既習事項を活用する問題を扱うなど、補充的・発展的な学習が取り上げられている。</p>			
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 内容と構成 第1学年では、順序を表す学習の後に、1位数の加法や減法の意味や計算の仕方の学習、第2学年では、2位数の加法や減法の学習の後に、乗法九九の意味や計算の仕方の学習、第3学年では、2位数の乗法の学習の後に、1位数の除法の意味や計算の仕方の学習、第4学年では、2位数の除法の学習の後に、小数の加法や減法の意味や計算の仕方の学習、第5学年では、小数の乗法や除法の学習の後に、分数の加法や減法の意味や計算の仕方の学習、第6学年では、分数の乗法や除法の学習の後に、円の面積や立体の体積の求め方の学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。</p> <p>○ 内容の分量 第1学年～ 数と計算 103 ページ、量と測定 15 ページ、図形 12 ページ、数量関係 19 ページ。 第2学年～ 数と計算 102 ページ、量と測定 35 ページ、図形 22 ページ、数量関係 21 ページ。 第3学年～ 数と計算 116 ページ、量と測定 28 ページ、図形 26 ページ、数量関係 22 ページ。 第4学年～ 数と計算 107 ページ、量と測定 28 ページ、図形 36 ページ、数量関係 40 ページ。 第5学年～ 数と計算 80 ページ、量と測定 52 ページ、図形 39 ページ、数量関係 30 ページ。 第6学年～ 数と計算 31 ページ、量と測定 35 ページ、図形 26 ページ、数量関係 51 ページ。</p>			
使用上の配慮等	<p>○ 次の単元の学習に取り組みやすくするため「次の学習のために」で既習の内容を復習したり（全学年）、「いち・に・算活」で活動の手順を示したり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 学習に関係のある話題を示すコラムを設けたり（全学年）、ゲーム的要素のある練習問題を取り上げたり（全学年）、巻末に「補充問題」と「解答」を掲載（第2～6学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 上巻末の「学びガイド」で算数の学習の流れを示すとともに（第2～6学年）「算数で使いたいことば・考え方」で発表の手順や方法の例を示したり（第2～6学年）、単語の途中での改行を避けた文節改行を採用したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他	<p>○ 北海道と関連のある教材は、「北海道のはくさいの生産量」など、8箇所取り上げられている。</p>			

